

防災教育教材「とっさのひとこと」の使い方

「とっさのひとこと」は、① 状況シート、② 教訓シート、③ 解説から構成され、学校、イベント、ワークショップなど、さまざまな場でどなたでも使える教材です。参加者の年齢や人数、用いる場所などによって、以下の方法を組み合わせて使います。

全体の進め方



状況シート

1 状況シート

状況シートは、災害時に起こりうる状況を3コマ漫画で表しています。進行役は1コマ、2コマ、3コマと状況の説明をし、参加者は3コマ目にある空白の吹き出しに入るセリフを考えます。

① 進行役は状況を説明する

例1 状況シートを1コマずつに分割して示し状況を説明

例2 状況シート全体を示して状況を説明

② 参加者はセリフを考えて、発表する

例1 口頭でセリフを発表

例2 配布された状況シートに個人でセリフを書き込み、発表

例3 配布された状況シートにグループでセリフを書き込み、発表

例4 掲示された状況シートを見ながら付箋などにセリフを書き込み、貼り出す

※セリフには、気持ちを表す言葉や行動を促す言葉が入ります。



教訓シート

2 教訓シート

教訓シートは、状況シートで設定された状況への対応を漫画で示しています。セリフを考えた後に示し、教訓を説明します。



解説

3 解説

解説には、■状況シートの説明、■教訓シートの説明、■東日本大震災の教訓が書かれています。教訓は、岩手県と宮城県の50名の子どもと大人へのインタビューから抽出したものです。どなたでも、解説を読みながら、本教材を使うことができます。